HUKUOKA CAN-DO GRADE　(March 2012 Version)

参考資料2－(3)

HUKUOKA CAN-DO			GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6
Writing	1	Speed （書く速さ）	・与えられたトピックについて、20分間に20～50ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に50～100ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に100～120ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に120～150ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に150ワード以上のまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に200ワード以上のまとまりのある英文を書くことができる。
	2	Format （英文の形態）	・3文以上からなるパラグラフを書くことができる。	・接続詞を使用しながら、1段落構成の英文を書くことができる。	・main ideaと supporting ideaからなるパラグラフを構成することができる。理由や具体例をあげながら、一貫した文章を書くことができる。	・接続語句をうまく使って適切に理由や具体例をあげながら、論理の展開がはっきりしとした200ワード程度のフォーマルスピーチ・エッセイを書くことができる。	・接続語句をうまく使って適切に理由や具体例をあげながら、論理の展開がはっきりしとした序論・本論・結論からなる200～400ワード程度のフォーマルスピーチ・エッセイを書くことができる。	・接続語句をうまく使って適切に理由や具体例をあげながら、論理の展開がはっきりしとした序論・本論・結論からなる400ワード以上のフォーマルスピーチ・エッセイを書くことができる。
	3		・自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。	・自分の意見や感想、または出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。	・自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。	・自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。	・効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、複数の段落で書くことができる。	・意見の分かれる話題について、複数の事実関係や意見の共通点、相違点を整理し、論理的に自分の考えを書くことができる。
	4	Summary Writing （要約文作成）	・教科書の内容について、穴埋めの原稿に適切なキーワードを入れながら、サマリー発表ができる。	・教科書の内容について、キーワードを使って英文を発表することができる。（主題文や結論文などの主要なメッセージ部分が不明瞭なことがある。）	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、キーワードを元に作成したコンセプトマップを見ながら比較的短いサマリーを書くことができる。さらに、簡単なコメントを付け加えることができる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、主題文や指示文をつないでサマリーを書くことができる。さらに、簡単なコメントを付け加えることができる。	・教科書の内容について、本文を抜き出して使う部分が少なくなり、さらに簡単なコメントを付け加えたサマリーを書くことができる。	・教科書の内容について、自分の表現を多く使いながらサマリーを作り、さらにその内容に関し、コメントを付け加えて、自分の意見を述べることができる。
	5	Topic （英文の題材）	・自分に関することや日常的な出来事であれば、なんとか英文を書くことができる。（目安30語程度）	・自分に関することや日常的に経験している内容であれば、まとまりのある文章で簡潔に書くことができる。（目安：50語程度）	・身近なことや興味・関心があることについてまとまりのある文章を書くことができる。（目安：60語程度）	・9～10行程度の長さの手紙、お知らせ、電子メール等について、制限時間内にまとまりのある文章を書くことができる。（目安：80語程度）	・社会性のある話題に関して、論理的な文章構成を用いてまとまりのある文章を書くことができる。（目安：100語程度）	・社会性のある話題に関して、論理的な文章構成を用いてまとまりのある文章を書くことができる。（目安：120語程度）
	6		・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好き嫌い、家族、学校生活など）について短い文章を書くことができる。（CEFR-J: A1．2）	・自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。（CEFR-J:A1．3）	・文と文を and, but, because などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。（CEFR-J: A2．1）	・身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。（CEFR-J: A2．2）	・自分に直接関わりのある環境（学校、職場、地域など）での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。（CEFR-J: B1．1）	・興味・関心のある話題について、聞いたり読んだりした内容の要約を書くことができる。（講義の内容、雑誌や新聞の記事など） ・日常生活の身近な話題について、自分の考えや意見を書くことができる。（「食事と健康」など）
	7		・自分の興味・趣味について平易な表現で書くことができる。	・趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。（CEFR-J:A1．3）	・日本の文化について紹介する簡単な文章を書くことができる。（食べ物、祝日、お祭りなど）	・興味・関心のあることについて、説明する文章を書くことができる。（簡単なレシピ、器具の使い方など）	・自分がやりたいと思っていることの説明や理由を書くことができる。（留学や入学の志望動機など）	・新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじををまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。（CEFR-J: B1．2）
	8		・物語や教科書の内容、絵の内容について、感想・意見を3文程度で書くことができる。	・物事の「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。（食べ物、スポーツ、音楽など）	・印象に残った出来事について、その内容を詳しく伝える文章を書くことができる。（学校行事、旅行など）	・自分が読んだ本や見た映画について、自分の感想を書くことができる。	・興味関心のあること、身近に起こった出来事について、記事・コラムを書くことができる。	・物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。また、近況を詳しく伝える個人的な手紙を書くことができる。（CEFR-J: B1．2）
	9	Function （書くことの趣旨・目的）	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、、メッセージカード（誕生日カードなど）や身近な事柄についての短いメモなどを書くことができる。（CEFR-J:A1．2）	・短い日記、簡単なお知らせ、電子メールを書くことができる。	・日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。（CEFR-J: A2．1）	・聞いたり読んだりした内容（生活や文化の紹介などの説明や物語）であれば、基礎的な日常生活語彙や表現を用いて、感想や意見などを短く書くことができる。（CEFR-J: A2．2）	・身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。（CEFR-J: B1．1）	多様な考え方ができる課題について、立場を決めて意見をまとめ、読み手を説得するための文章を書くことができる。
	10		・2～3文程度の短い簡単な内容の英語の日記を書くことができる。	・英語の手紙や電子メールなどを、辞書を引きながらであれば、書くことができる。	・英語の手紙や電子メールなどで、ある程度まとまった内容を、それほど辞書を引かなくても書くことができる。	・自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。	・国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題について、読み手を意識して自分の考え、意見・提案などを書くことができる。	・国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題についての発表や討論を聞いて、その内容をまとめ、自分の意見を書くことができる。
	11	Interaction/Monitoring （やりとり・推敲）	・自分が書いた英文を、指摘されたことや提示されたチェック項目を参考にしながら書き直すことができる。	・友人の書いた英文の中で、内容が面白い部分や気に入った表現などに下線を引きながら読み、内容について簡単なコメントを書くことができる。	・友人の書いた英文の中で、内容が面白い部分や気に入った表現などに下線を引きながら読み、内容についてまとまったコメントを書くことができる。	・自分や友人の書いた英文を、辞書を活用しながら推敲することができる。	・自分の書いた英文を、文法や語法の添削だけでなく、よりよい表現や書き方を検討しながら、書き直すことができる。	・自分や友人の書いた英文を推敲し、どのような語彙や表現が適切かについて意見を交換し、より質の高い英文を書くために議論することができる。
Basic Skills	1	Vocabulary	・1600語レベルの単語の意味や発音が概ねわかり、そのうちの50%程度は実際に使用することができる。	・1600語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの80%程度は自由に使いこなすことができる。	・2300語レベルの単語の意味や発音が概ねわかり、そのうちの60%程度は実際に使用することができる。	・2300語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの60%程度は自由に使用することができる。	・3000語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの50%程度は実際に使用することができる。	・3000語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの50%程度は自由に使いこなすことができる。
	2		・多くの発音記号の読み方がわかる。（Kagoshima Standard Step 5）	・辞書を活用し、発音記号を見てその単語の発音ができる。	・辞書の例文を読み、その単語の使い方をほぼ理解することができる。	・辞書の例文を読み、その単語の使い方を理解することができる。	・辞書の例文を参考にし、その単語を適切な文脈の中で使うことができる。	・辞書の例文を参考にし、その単語を適切な文脈の中で概ね正しく使うことができる。
	3	Grammar /Usage	・中学校既習事項を理解し、高校で学習する基本的な文構造を概ね理解することができる。	・中学校既習事項を理解し、高校で学習する基本的な文構造を理解することができる。	・既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを使用して自己表現できる。	・既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを適切に使用して自己表現できる。	・既習の英文法や表現を理解し、それらを適切に組み合わせた英語で自己表現することができる。	・既習の英文法や表現を理解し、それらを適切に組み合わせた英語で、より自由度の高い自己表現をすることができる。
						CEFR-J (March 10, 2012公開版) より	Benesse版　GTEC　CAN-DO GRADEより	岩手県版スタンダードCAN-DO LISTより

入学時	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	卒業時

HUKUOKA CAN-DO		GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6
年度ごとの達成状況	入学時						
	1年後期						
	2年前期						
	2年後期						
	3年前期						
	卒業時						

感想・目標など